

衆議院農林水産委員会ニュース

【第210回国会】令和4年12月8日（木）、第4回の委員会が開かれました。

1 農林水産関係の基本施策に関する件（畜産問題等）

- ・野村農林水産大臣、野中農林水産副大臣、角田農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者）山口晋君（自民）、稲津久君（公明）、庄子賢一君（公明）、仁木博文君（有志）、石川香織君（立憲）、緑川貴士君（立憲）、池畑浩太郎君（維新）、岬麻紀君（維新）、長友慎治君（国民）、田村貴昭君（共産）

（質疑者及び主な質疑事項）

山口晋君（自民）

- （1） 食料安全保障及び畜産物の自給率向上についての考え方
- （2） 飼料関係
 - ア エネルギー政策の基本指針であるS+3Eの視点からの飼料についての基本的な考え方
 - イ 飼料の国産化のための具体的な取組及び支援策
 - ウ 配合飼料の価格安定対策及び地方独自の支援策に対する考え方
- （3） 畜産物の輸出関係
 - ア 牛肉の輸出促進についての方針及び支援策
 - イ 現地プロモーション活動の強化についての考え方
- （4） 畜産・酪農におけるスタートアップ支援の考え方

稲津久君（公明）

酪農関係

- ア 国産チーズの需要拡大のための支援策
- イ 加工原料乳生産者補給金の単価設定及び総交付対象数量並びに集送乳調整金の単価設定についての農林水産大臣の考え
- ウ 農林漁業セーフティネット資金の償還における柔軟な対応及び酪農経営に対する緊急かつ追加的な支援の必要性

庄子賢一君（公明）

- （1） 濃厚飼料の自給率目標の再設定及び供給体制強化の必要性
- （2） 農地の集約化に向けた取組方針

仁木博文君（有志）

- （1） 点在する農地を所有する米農家に今後の展望を示す必要性
- （2） スマート農業が軌道に乗るまでの間を支援する予算及び昆虫食等のフードテックの開発支援に係る予算の必要性
- （3） 海洋植物によるCO₂吸収を進めるブルーカーボン関係予算を充実する必要性

石川香織君（立憲）

(1) 酪農関係

ア 平成6年のウルグアイ・ラウンド農業協定におけるコメのミニマム・アクセス機会の法的性格に関する政府統一見解における「通常の場合」の内容

イ 酪農経営が危機的状況にある中、乳製品のカレントアクセス数量の輸入を続ける理由

ウ 不落によりカレントアクセス枠が未達となった場合の対応

エ 国産脱脂粉乳を食糧支援に活用する必要性

オ 酪農経営改善緊急支援事業関係

a 参加要件の検討状況

b 事業実施を前倒しする必要性

カ 酪農の現状に配慮して加工原料乳生産者補給金等を決定する必要性

キ 配合飼料価格安定制度を価格の高止まりにも対応できる制度に改善する必要性

(2) てん菜の交付金の上限引下げに伴う地域経済への影響に対する農林水産大臣の所見

(3) 物価高騰の影響を受けている農業高校への支援の必要性

緑川貴士君（立憲）

(1) 大雨の被害、熊による食害等に遭った比内地鶏生産者を支援する必要性

(2) 飼料作物への鳥獣被害対策を講ずる必要性

(3) 配合飼料価格高騰による農家負担増に対する見解

(4) 配合飼料価格安定制度関係

ア 飼料メーカーの負担と価格転嫁に対する見解

イ 国の負担分を増やす必要性

ウ 制度の大枠を維持しつつ基準価格の算定方法の変更等により価格の高止まりに対応する必要性

(5) 畜産経営安定対策における農家負担分を再検討する必要性

(6) 原価割れの状態での出荷を余儀なくされている酪農家の現状に対する見解

(7) 乳製品のカレントアクセス数量の輸入について再検討する必要性

池畑浩太郎君（維新）

(1) 酪農経営改善緊急支援事業関係

ア 農林水産省内での検討経過

イ 本事業による奨励金の額

ウ 本事業実施を契機とした廃業の可能性についての見解

(2) 酪農に対する支援策について農林水産大臣自ら発信していく必要性

(3) 畜産業界における環境負荷軽減策についての見解

岬麻紀君（維新）

高病原性鳥インフルエンザ関係

ア 今シーズンの感染拡大の原因

イ 2020年以降感染が増加している理由及び短期・中長期の感染拡大の見通し及び対策

ウ 本病の発生により廃業した養鶏場の数及び廃業を回避するための支援の重要性

エ 経営再開に向けた財政面及び風評被害への支援策

オ 鶏肉や鶏卵の価格への影響に関する見解

カ 都道府県との連携を深めて対策に取り組むに当たっての農林水産大臣の所感

長友慎治君（国民）

スポーツと農業の連携関係

- ア スポーツと農業を掛け合わせた視点での新しい農業の在り方又は農業の魅力発信のためのアスリートの活用に関する農林水産省での検証の有無
- イ アスリートがセカンドキャリアとして就農することに関するスポーツ庁の見解
- ウ アスリートと農業を掛け合わせたアグリート（造語）の取組に対する農林水産省及びスポーツ庁の見解
- エ アスリートのセカンドキャリア形成に農林水産省としても取り組む必要性に対する農林水産大臣の見解
- オ アスリートを通じて地方の農業の課題解決につなげている地域及び事例についてのスポーツ庁の把握状況

田村貴昭君（共産）

- (1) 酪農経営の厳しい現状に対する見解
- (2) 酪農の離農、廃業の現状についての把握状況
- (3) 離農、廃業を防ぐ視点で対策を講ずる必要性
- (4) 飼料価格高騰分を直接支援する必要性
- (5) 酪農経営改善緊急支援事業の実施により乳製品の安定供給が損なわれるとの懸念に対する見解
- (6) 政府が乳製品の備蓄等により需給調整を行う必要性
- (7) 代用乳に国産脱脂粉乳を活用する必要性
- (8) 牛乳・乳製品の消費拡大の必要性を農林水産大臣自ら発信していく必要性

2 令和5年度畜産物価格等に関する件

- ・ 武部新君外6名（自民、立憲、維新、公明、国民、共産、有志）から提出された令和5年度畜産物価格等に関する件の決議案について、提出者山田勝彦君（立憲）から趣旨説明を聴取しました。
- ・ 採決を行った結果、全会一致をもってこれを委員会の決議とすることに決しました。
（賛成—自民、立憲、維新、公明、国民、共産、有志）
- ・ 野村農林水産大臣から発言がありました。